

教科:生活単元 単元名:野菜を育てよう

学年:つくし3組

タイトル

野菜を育てよう

10のキーワード

- ・センスとタイミング
- ・授業を「ゲーム」というまなざしでとらえる。
- ・リソースとリミッター

問いストーリー(単元の概要・児童への願い)

<児童への願い>つくし学級では、毎年、つくしの畑で野菜を育てている。身近にある野菜を自分たちの手で育て、収穫する喜びを体験させる活動である。野菜を育てる大変さや、収穫する楽しさを味わわせたい。理科との関わりでは「B 生命・地球(1)身の回りの生物 ア(ウ)植物の育ち イ差異や共通点」この要素をねらいとしている。本学級は1年2年4年6年の児童がおり、児童個々の経験に応じて、作業の取り組みを支援しながら、野菜の成長と関わらせたい。

<問いストーリー>「好きな野菜を育てよう」という問いからスタートする。前半は自分の野菜を本やパソコンで調べてみる。野菜はどのようにそだつのか?どんな世話をするとよいのか?調べたことを実際に試してみることで、知識を実体験で確認することができる。後半は、さつまいもを題材にして、食べる(焼きいも・スイートポテト等)、遊ぶ(いもばんスタンプ)、作る(リース)、利用の広がりを楽しむ活動をする。

単元計画

授業概要

1	つくしの畑で野菜を育てることを知る。 昨年のことを思い出しながら、どんな野菜を育てたいか、考える。2年生は交流学級の生活科でミニトマトを育てる。
2 ~ 6	ミニトマト、ピーマン、なす、きゅうりの中から自分の育てたい野菜を選ぶ。じゃがいも(5月) さつまいも(6月)、野菜の育て方を 図書館の本、インターネット、人に聞いて調べる。 ☆作業 耕すー土づくり(肥料を入れる)ー苗を植えるー水やり →使う資料は個に応じて用意しなければならない。作業内容を分担(高-耕す、土づくり 低-苗植え、水やり等)みんなで協力して育てることを意識させられた。
7 ~ 10	・茎、葉の形や大きさ、花の違いがあることに気づく。・花が咲いた後、実ができることがわかる。 ☆作業 水やりー雑草取りー収穫 →地道な作業(水やりや雑草取り)を積み重ねることで、作物が育つことを意識することができた。作物によって、葉や花の違いがあることが分かる。苗が成長し、花が咲き、実ができる過程は同じであることに気づくことができた。
11 本時	・さつまいもはどこにできるの?・さつまいもを食べよう?・さつまいもを使って…… 本やパソコンを使って調べよう →資料提示を具体的にすることで、調べたい項目にたどり着けるようにした。写真や絵を使って分かりやすく見せることができた。
12~ 15	・いもばんスタンプ ・リース作り ・さつまいも料理 →「さつまいも」を使って、遊ぶ、作る、食べる様々な活動ができることが分かった。さつまいもを使って、できることを広げていきたい。



この写真はなんの野菜ですか?

